

# 純白の屋根 室温守る



## ⑤ 遮熱塗料 注目浴びる

ってきたけど、緩めの冷房で十分だった。どれだけ節電できるか楽しみ」と営業担当の男性は話す。

屋根を白くしたのは「遮熱塗料」。名前の通り、太陽の光や熱を遮る効果を持つ。松岡コンクリート工業（岐阜県大垣市）が製造・販売する「ロードクーラー」は、東日本大震災の発生後に売上高が急増。毎月、前年同期比で約三倍の売れ行きを見せる。

名古屋工業大教授だった岩尾憲三さん（現マレーシア工科大教授）と二〇〇八年に共同開発。遮熱作用のある特殊塗料を二度塗りした後、直径〇・五センチ前後のガラス製ビーズを大量に吹き掛ける。

ピーズは日光を反射し、夏場は五〇度前後になる屋根の表面温度を三〇度前後に抑える。室内の温度も下げ、冷房の使用を抑えることができた」と松岡社長。屋根の塗装を、景観よりも節電効果で選ぶ時代が来ているのかもしれない。

「猛暑の中で外回りから帰ってきたけど、緩めの冷房で十分だった。どれだけ節電できるか楽しみ」と営業担当の男性は話す。

最高気温三十六度を超す猛暑日の八月上旬。岐阜市内の二階建て事業所の屋根が、コンクリートのグレーから、真っ白に塗り替えられた。狙いは節電。照りつける日差しで熱せられた屋根の真下にある営業部署はいつも蒸し暑かった。節電が必要だと分かっても、八段階設定のエアコンはついつい強めの「7」か「8」に。ところが塗り替えた日の午後からは「4」か「5」でしのげるようになった。

「猛暑の中で外回りから帰ってきたけど、緩めの冷房で十分だった。どれだけ節電できるか楽しみ」と営業担当の男性は話す。